

家畜衛生だより 令和4年7月号

紀北家畜保健衛生所

電話 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

電話 0739-47-0974

紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所

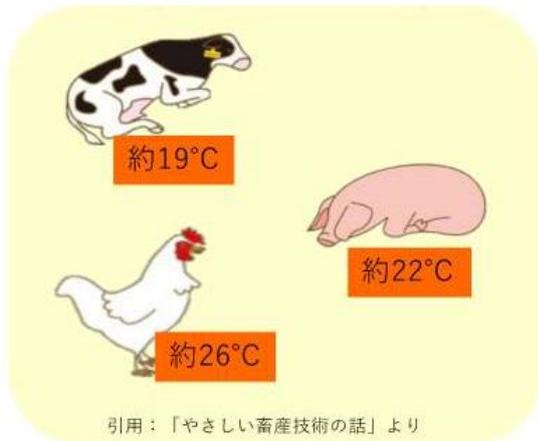
電話 0735-58-1481

早めの暑熱対策実施を！！

今年の夏は、平年よりも暑い時期が早く始まり、気温も平年より高く、暑さが厳しい予測が出ています。牛・豚・鶏等の家畜は人間と違って、全身で汗をかいて体温を調節することができません。家畜は暑さにより大きなストレスを受け、生産性が大きく低下します。

夏季の生産性低下を防止するため、暑熱対策を行いましょう。

家畜が暑さを感じる気温



生産性への悪影響

- ・摂食量および増体量の低下
- ・繁殖成績の低下
- ・へい死の増加
- ・肉質等の悪化
- ・産卵率の低下

<対策>

○遮光や断熱による対策

- ・屋根や壁等に断熱材を設置する
- ・屋根に断熱塗料や石灰を塗布する
- ・遮光ネット、よしずを用い遮光する



○散水や細霧による対策

- ・屋根に散水をする
- ・細霧発生装置を利用し、気化熱と送風で体感温度を低下させる

※細霧のみでは湿度が上昇し、不快指数が上昇するため、必ず送風を行ってください。

○換気や送風による対策

- ・窓を開放する
- ・換気扇や送風機により送風する
(清掃により能力が向上します)



○飼養管理

- ・密飼いを避ける
- ・新鮮で冷たい水を供給する
- ・塩分、ビタミン、ミネラルを補給する
- ・涼しい時間帯に飼料を給与し、給与回数を増やす
※飼料の品質劣化にも注意して下さい

☆暑熱の影響は秋以降の生産性低下にもつながります。

家畜の様子や飼料摂取量、飲水量等をよく観察し、対策を行いましょう。

気になることや不明な点がありましたら、
所轄の家畜保健衛生所にお問い合わせください。